

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	大和大学
設置者名	学校法人 西大和学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難	
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計			
教育学部	教育学科 初等幼児教育専攻	夜・通信	—	2	11	13	13		
	教育学科 国語教育専攻	夜・通信			11	13	13		
	教育学科 数学教育専攻	夜・通信			11	13	13		
	教育学科 英語教育専攻	夜・通信			11	13	13		
保健医療学部	看護学科	夜・通信		—	—	14	14	13	
	総合リハビリテーション学科 理学療法学専攻	夜・通信				13	13	13	
	総合リハビリテーション学科 作業療法学専攻	夜・通信				14	14	13	
	総合リハビリテーション学科 言語聴覚学専攻	夜・通信				13	13	13	
政治経済学部	政治行政学科	夜・通信		14	—	—	14	13	
	経済経営学科	夜・通信				—	14	13	
(備考)									

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<http://www.yamato-u.ac.jp/library/student/pdf/experience-teacher.pdf>

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名	該当なし
(困難である理由)	

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	大和大学
設置者名	学校法人 西大和学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

平成30年度事業報告書3ページ参照 http://www.nishiyamato.ed.jp/ny/nishiyamato_1221/financial/index.html
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	医師	4年 (平成28年4月 1日～令和2年 3月31日)	組織運営体制及び 財務の管理
非常勤	地方自治体職員	4年 (平成28年4月 1日～令和2年 3月31日)	組織運営体制及び 財務の管理
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	大和大学
設置者名	学校法人 西大和学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業計画(シラバス)の作成過程 <ul style="list-style-type: none"> 「シラバス作成のためのガイドライン」と「シラバス作成・編集上の留意事項」に従って、シラバスの作成・公表を行う。また、特に留意すべき事項は以下のとおりとする。 1. 以下の示したシラバスの役割等を全教員で共通理解を図る。 <ul style="list-style-type: none"> (1) 授業選択のガイドとしての役割 (2) 担当教員と受講する学生との契約書としての役割 (3) 学修効果を高めるための役割 (4) 授業全体をデザインするための役割 (5) 学科・専攻・コースのカリキュラム全体に一貫性を持たせるための役割 (6) 授業の改善につなげる役割 2. シラバスの各項目の記載方法については、学生の視点に立ち、抽象的な表現は避け、具体的でより分かりやすい記述にする。 3. 授業担当者は、当該の講義の目的・達成目標等を明確に定めるとともに、本学および当該学部のCP:カリキュラムポリシーおよび、DP:ディプロマポリシーに関連づけて設定されていることを確認する。 4. 授業計画(シラバス)作成時期は、毎年、2月初旬から3月上旬とする。 5. 授業計画(シラバス)公表については、現在は、毎年3月下旬に、学生ポータルサイトを活用して、WEB上で全学生が閲覧できるようにしている。また、本学のHP(ホームページ)において、授業計画(シラバス)を一般に公開している。 	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>https://cpweb.yamato-u.ac.jp/public/web/Syllabus/WebSyllabusKensaku/UI/WSL_SyllabusKensaku.aspx 上記アドレスより、開講年度を選択し、「以上の条件で検索」をクリックすると表示される。</p>

<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>本学の学士課程における単位認定にあたっては、各学部の学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）を踏まえた当該授業科目の位置づけとして相応しい到達目標を設定し、これに照らして学生の学修到達度を評価します。</p> <p>(評価方法) 評価については、授業科目の担当教員が試験、レポートなどの成果物や、受講態度、授業への貢献度などに拠って行います。担当教員は、授業の内容および形態を考慮したうえで、学修到達度を適切に評価するために相応しい評価方法・基準を年度のはじめにシラバスで学生に明示し、その内容に基づいて厳格な成績評価を実施します。複数の担当で担当する必修科目については、担当者間で協議し、評価が偏らないように配慮されています。なお、成績発表後に学生が自身の成績評価に関して担当教員に照会できる制度を備えることで、成績評価の透明性を確保します。</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>【成績評価基準】</p> <p>科目の成績評価は、「秀」「優」「良」「可」「不可」「無資格」とし、以下の通りとする。</p> <p>評価：100点満点法の得点</p> <p>秀 (P)：100点～90点 合格</p> <p>優 (A)：89点～80点 合格</p> <p>良 (B)：79点～70点 合格</p> <p>可 (C)：69点～60点 合格</p> <p>不可 (D)：59点～0点 不合格</p> <p>無資格 (E)：「-」 不合格</p> <p>【GPAについて】</p> <p>GPA (Grade Point Average) は、学生の成績評価値のことで、学業成績を総合的に判断する指標として利用する。本学のGPAは次に示す計算式の通り、修得した成績のうち、「秀」を4、「優」を3、「良」を2、「可」を1として、各科目の単位数に乗じて得た積の合計を総履修単位数で割って算出した数値を、小数点第3位を四捨五入し、小数点第2位までの数値で算出する。</p> <p>[GPA計算式]</p> <p>(「秀」の単位数×4+「優」の単位数×3+「良」の単位数×2+「可」の単位数×1) / 総履修単位数</p> <p>成績評価指標の公表・成績分布状況の把握</p> <p>現在は、毎年4月、全学生に配布している「学生便覧」に上記の成績評価の指標を記載しており、本学のHP (ホームページ) において、学生便覧 (一部抜粋) を一般に公開している。</p> <p>また、現在は、成績分布状況に関する資料については、学生に配布できていないが、次年度 (2020年度) からは、学生ポータルサイトを活用して、学生自身が学科・専攻等の単位における自身の位置づけが把握できるように成績分布等を全学生に通知する。添付資料「客観的な指標に基づく成績の分布状況を示す資料」を参照。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>http://www.yamato-u.ac.jp/library/student/pdf/grade.pdf</p>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

大和大学は、教育の目的に定める人材を育成するため、所定の期間在学し、所属学部において定める共通基礎科目および専門教育科目に関する所定の単位を修得し、以下の能力・資質を身に付けたと認定した学生に学位（学士）を授与します。

1. 学士としてふさわしい、幅広い教養と視野を有している。
2. 各専門分野について高度な知識・技術・見識を有している。
3. 豊かな人間性と広く、偏らない視野を備えている。
4. 社会の発展に貢献することができる意欲と能力を有している。

また、各学部等の卒業認定・学位授与の方針を次のように定めます。

[教育学部] 教育学部では、卒業認定・学位授与の方針として、以下の学修成果を獲得することを求めます。

- ①偏りのない基礎的な教養と、教育の専門職としての高度な知識及び技能を有し、それを活用できること。
- ②豊かな人間性と開かれた社会性を持ち、対人関係を適切に構築できること。
- ③教育に情熱を注ぎ、常に学び続けようとする姿勢を有していること。
- ④幼稚園教員にあつては小学校や保育所等との連携を想定し、小学校教員にあつては幼稚園や中学校等との連携を想定して、地域社会のネットワークの中で子育て支援などの時代や社会の要請に応じる力を有していること。
- ⑤中学校及び高等学校教員にあつてはそれぞれ専攻する教育の実践において、リーダー的存在として活躍することができること。

[保健医療学部]

〈看護学科〉保健医療学部看護学科では、卒業認定・学位授与の方針として、以下の学修成果を獲得することを求めます。

- 1 豊かな人間性と幅広い教養、自他の人権の尊重を基盤とした価値観を持っていること。
- 2 場面に応じた適切な判断力や、様々な課題に対応する専門的な視野を有していること。
- 3 コミュニケーション能力とそれに基づく協調性とリーダーシップを身につけていること。
- 4 高い専門的知識・技術と論理的思考力を持った看護師として社会に貢献することができること。

〈総合リハビリテーション学科〉保健医療学部総合リハビリテーション学科では、卒業認定・学位授与の方針として、以下の学修成果を獲得することを求めます。

- 1 豊かな人間性と幅広い教養、自他の人権の尊重を基盤とした価値観を持っていること。
- 2 場面に応じた適切な判断力や、様々な課題に対応する専門的な視野を有していること。
- 3 チーム医療におけるセラピスト職の専門性と役割を理解し、その一員としての協調性、連帯意識を持っていること。
- 4 高い専門的知識を持つセラピストとして社会に貢献することができること。

[政治経済学部]

政治経済学部では卒業認定・学位授与の方針として、以下の学修成果を獲得することを求めます。

- ①現代社会、国際社会を広く俯瞰するための専門領域に偏らない広範な知識と教養を身に付けること。
- ②現代社会、国際社会が抱える多くの問題を解決するための洞察力と政治学、行政学、経済学、経営学のそれぞれの専門分野における深い専門的知識を身に付けていること。
- ③将来にわたって社会に寄与することのできる多角的な視野、柔軟な発想、行動力、そしてコミュニケーション能力を身に付けていること。
- ④自他の人権尊重の精神を価値観とする豊かな人間性を備えていること。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

<http://www.yamato-u.ac.jp/about/disclosure/policy.html>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	大和大学
設置者名	学校法人 西大和学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://www.nishiyamato.ed.jp/ny/nishiyamato_1221/finacial/index.html
収支計算書又は損益計算書	http://www.nishiyamato.ed.jp/ny/nishiyamato_1221/finacial/index.html
財産目録	http://www.nishiyamato.ed.jp/ny/nishiyamato_1221/finacial/index.html
事業報告書	http://www.nishiyamato.ed.jp/ny/nishiyamato_1221/finacial/index.html
監事による監査報告(書)	http://www.nishiyamato.ed.jp/ny/nishiyamato_1221/finacial/index.html

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: 令和2年6月をめどに自己点検・評価の結果を本学ホームページ(http://www.yamato-u.ac.jp)にて公表予定である。
--

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: 令和2年度に日本高等教育評価機構による認証評価を受ける予定である。認証評価の結果は認証評価機関ホームページ(http://www.jihe.or.jp)および本学ホームページ(http://www.yamato-u.ac.jp)にて公表予定である。
--

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

① 教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 教育学部
<p>教育研究上の目的 (公表方法：http://www.yamato-u.ac.jp/about/disclosure/policy.html)</p> <p>(概要) 教育学部のもとに、初等幼児教育専攻、国語教育専攻、数学教育専攻、英語教育専攻の 4 つの専攻を置き、子どもの「生きる力」を学校教育の場で育む教員を養成することを目指します。基礎的な教養を偏りなく身に付けるようにするとともにそれぞれの専攻における教育の専門職に求められる高度な知識及び技能を受け、さらに、豊かな人間性と開かれた社会性を涵養し、教育に対する強い情熱を持って自ら学び続けようとする態度を養う。このように教員に求められる資質・能力を備え、教育保育分野に貢献する人材の育成を教育の目的とします。</p>
<p>卒業の認定に関する方針 (公表方法：http://www.yamato-u.ac.jp/about/disclosure/policy.html)</p> <p>(概要) 教育学部では、卒業認定・学位授与の方針として、以下の学修成果を獲得することを求めます。</p> <p>①偏りのない基礎的な教養と、教育の専門職としての高度な知識及び技能を有し、それを活用できること。 ②豊かな人間性と開かれた社会性を持ち、対人関係を適切に構築できること。 ③教育に情熱を注ぎ、常に学び続けようとする姿勢を有していること。 ④幼稚園教員にあつては小学校や保育所等との連携を想定し、小学校教員にあつては幼稚園や中学校等との連携を想定して、地域社会のネットワークの中で子育て支援などの時代や社会の要請に応じる力を有していること。 ⑤中学校及び高等学校教員にあつてはそれぞれ専攻する教育の実践において、リーダー的存在として活躍することができること。</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法：http://www.yamato-u.ac.jp/about/disclosure/policy.html)</p> <p>(概要) 教育学部では、目標とする学修成果を獲得するために、以下の方針に則った教育課程を編成・実施します。</p> <p>①教育の専門職にふさわしい基礎的な教養を身に付ける科目を置き、また、外国語について学ぶ科目を置く。 ②教育の専門職として必要な知識及び技能を養成するための基礎となる教職の意義、教育の原理・制度・歴史、子どもの成長や発達についての学問的理解、教科の基礎を学ぶ科目を置く。 ③教職や教科の基礎となる科目を深化・発展させるべく、教科内容についての幅広く深い理解、子どもの発達段階に応じた適切な助言・指導を行える実践力、指導法についての専門的知識や技能、そして情熱を持って授業を実践し先導する力を養成する科目を置く。 ④生徒指導及び進路指導や学級経営を適切に行うために必要な豊かな人間性や社会性を身に付ける科目を置く。 ⑤初等教育から中等教育への接続の意義重要性に鑑み、主たる免許資格以外の教育内容を学修することにより複数免許の取得ができるように教育課程を編成する。 ⑥特別支援教育の意義重要性に鑑み、その基礎となる科目についてはすべての専攻において必修科目として置く。</p>

<p>入学者の受入れに関する方針 (公表方法：http://www.yamato-u.ac.jp/about/disclosure/policy.html)</p>
<p>(概要) 教育学部では、以下に掲げる資質・能力を備えた学生を受け入れます。 ①高等学校における課程の修了時点で相当する基礎的な学力を有する人。 ②教職に強い関心があり、教員に求められる専門的知識及び技能を身に付けようとする人。 ③学んだことを広く人と交流する中で生かそうとし、また、そこから新しいことを学ぶことができる人。 ④教育的愛情を持ちながら子どもと接し、子どもを育成することに使命感を持っている人。</p>
<p>学部等名 保健医療学部</p>
<p>教育研究上の目的 (公表方法：http://www.yamato-u.ac.jp/about/disclosure/policy.html)</p>
<p>(概要) 看護学、理学療法学、作業療法学、言語聴覚学の各分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、十分な知識と技能を有し、保健医療の実践を担うことができる应用能力と豊かな人間性・社会性を備えた看護師、保健師、助産師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等の人材を育成することを教育の目的とします。</p>
<p>卒業の認定に関する方針 (公表方法：http://www.yamato-u.ac.jp/about/disclosure/policy.html)</p>
<p>(概要) 〈看護学科〉 保健医療学部看護学科では、卒業認定・学位授与の方針として、以下の学修成果を獲得することを求めます。 1 豊かな人間性と幅広い教養、自他の人権の尊重を基盤とした価値観を持っていること。 2 場面に応じた適切な判断力や、様々な課題に対応する専門的な視野を有していること。 3 コミュニケーション能力とそれに基づく協調性とリーダーシップを身につけていること。 4 高い専門的知識・技術と論理的思考力を持った看護師として社会に貢献することができること。</p> <p>〈総合リハビリテーション学科〉 保健医療学部総合リハビリテーション学科では、卒業認定・学位授与の方針として、以下の学修成果を獲得することを求めます。 1 豊かな人間性と幅広い教養、自他の人権の尊重を基盤とした価値観を持っていること。 2 場面に応じた適切な判断力や、様々な課題に対応する専門的な視野を有していること。 3 チーム医療におけるセラピスト職の専門性と役割を理解し、その一員としての協調性、連帯意識を持っていること。 4 高い専門的知識を持つセラピストとして社会に貢献することができること。</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法：http://www.yamato-u.ac.jp/about/disclosure/policy.html)</p>

<p>(概要)</p> <p>〈看護学科〉</p> <p>保健医療学部看護学科では目標とする学修成果を獲得するために、以下の方針に則った教育課程を編成・実施します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 豊かな人間性を涵養し看護実践に必要な知識・技術の基礎を修得するために、1年次より専門基礎科目を配置する。 2 各領域の専門科目は4年間で実践能力を獲得できるように講義－演習－臨地実習を配置し専門知識と技術を深化させる。 3 他職種との連携・協働や地域社会への貢献に関する科目を効率的に学べるように連続性及び階層性を持たせて配置する。 4 3年次から希望者は看護師養成課程に加えて保健師養成課程または助産師養成課程を選択できる。 5 カリキュラム全体を通して、高い職業倫理を身につけるために適切な科目を配置する。 <p>〈総合リハビリテーション学科〉</p> <p>保健医療学部総合リハビリテーション学科では目標とする学修成果を獲得するために、以下の方針に則った教育課程を編成・実施します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 豊かな人間性を涵養しリハビリテーション実践に必要な知識・技術の基礎を修得するために、1年次より専門基礎科目を配置する。 2 各分野の専門科目は4年間で実践能力を獲得できるように講義－演習－臨地実習を配置し専門知識と技術を深化させる。 3 他職種との連携・協働や地域社会への貢献に関する科目を効率的に学べるように連続性及び階層性を持たせて配置する。 4 カリキュラム全体を通して、セラピストの役割を理解し高い職業倫理を身につけるために適切な科目を配置する。
<p>入学者の受入れに関する方針</p> <p>(公表方法：http://www.yamato-u.ac.jp/about/disclosure/policy.html)</p>
<p>(概要)</p> <p>〈看護学科〉</p> <p>保健医療学部看護学科では、以下の能力・資質を備えた学生を入学者として受け入れます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 人間・健康・医療に関心を持つ人 2 看護学を学ぶ強い意欲と基礎学力を持つ人 3 思いやりの心を持って他人と接することができる人 4 自己研鑽と他者との協力によって社会に貢献しようとする人 <p>〈総合リハビリテーション学科〉</p> <p>保健医療学部総合リハビリテーション学科では、以下の能力・資質を備えた学生を入学者として受け入れます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 人間・健康・医療に関心を持つ人 2 リハビリテーション学を学ぶ強い意欲と基礎学力を持つ人 3 思いやりの心を持って他人と接することができる人 4 自己研鑽と他者との協力によって社会に貢献しようとする人

学部等名 政治経済学部
<p>教育研究上の目的 (公表方法：http://www.yamato-u.ac.jp/about/disclosure/policy.html)</p>
<p>(概要) 広い教養と倫理観の上に政治、経済の各分野を広く俯瞰する視点を獲得し、さらに各分野における豊かな専門的知識・理論に裏打ちされた実学的・実践的視点を修得することで、学術文化の向上と社会の発展に貢献することができる人材を育成することを教育の目的とします。</p>
<p>卒業の認定に関する方針 (公表方法：http://www.yamato-u.ac.jp/about/disclosure/policy.html)</p>
<p>(概要) 政治経済学部では、卒業認定・学位授与の方針として、以下の学修成果を獲得することを求めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①現代社会、国際社会を広く俯瞰するための専門領域に偏らない広範な知識と教養を身に付けること。 ②現代社会、国際社会が抱える多くの問題を解決するための洞察力と政治学、行政学、経済学、経営学のそれぞれの専門分野における深い専門的知識を身に付けていること。 ③将来にわたって社会に寄与することのできる多角的な視野、柔軟な発想、行動力、そしてコミュニケーション能力を身に付けていること。 ④自他の人権尊重の精神を価値観とする豊かな人間性を備えていること。
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法：http://www.yamato-u.ac.jp/about/disclosure/policy.html)</p>
<p>(概要) 政治経済学部では目標とする学修成果を獲得するために、以下の方針に則った教育課程を編成・実施します。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①幅広い知識を修得し、複眼的、俯瞰的視野を身に付けるために共通基礎科目を設けて教養の修得を図るとともに、学科ごとの専門科目以外の他学科の専門科目も広く履修可能にし、政治学・経済学に関する幅広い知識と見識を備えられるよう配慮する。 ②政治・行政・経済・経営の専門となる各分野について、高度な専門知識・学識を修得するために、必要となる専門科目を配置するとともに、3年次・4年次においては学生個々の研究テーマに沿った主体的な学修が可能になるよう卒業論文作成のための指導を行う。 ③社会に貢献する人材としての資質を獲得するため、キャリア教育のための必修科目を4年間を通じて配置し、様々な実務経験者からの体験から学ぶとともに、グループワークや実践体験等のアクティブラーニングを通じて、主体性、協調性、コミュニケーション能力などの社会人としての基礎力が獲得できるよう配慮する。 ④学部定員が少人数である点を活かした担任による学生の個別指導や、卒業論文指導担当教員による指導を通じて、学生と教員との密接な関係性を築くことによって、学業のみならず、豊かな人間性を獲得するための教育を行う。
<p>入学者の受入れに関する方針 (公表方法：http://www.yamato-u.ac.jp/about/disclosure/policy.html)</p>
<p>(概要) 政治経済学部では、以下の能力・資質を備えた学生を入学者として受け入れます。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①高等教育を受けるにふさわしい基礎的学力を備えている人。 ②社会の動向に関心を持ち、問題解決のための方策を考えることのできる人。 ③創造力と開拓精神に富み、社会に貢献したいという意欲を持つ人。 ④多様な意見を尊重することのできる人。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：<http://www.yamato-u.ac.jp/about/disclosure.html>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	1人	—					1人
政治経済学部	—	13人	4人	6人	人	人	23人
保健医療学部	—	14人	8人	19人	人	人	43人
教育学部	—	21人	14人	人	人	人	35人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0人		9人					9人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法： http://www.yamato-u.ac.jp/about/disclosure.html					
c. F D（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
教育学部	190人	223人	117%	770人	784人	101%	5人	0人
保健医療学部 看護学科	100人	113人	113%	400人	423人	105%	人	人
保健医療学部 総合リハビリ テーション学 科	120人	135人	112%	480人	483人	100%	人	人
政治経済学部 政治行政学科	40人	46人	115%	180人	159人	88%	人	人
政治経済学部 経済経営学科	80人	93人	116%	360人	361人	100%	人	人
合計	530人	610人	115%	2190人	2210人	100%	5人	0人
(備考) 政治経済学部政治行政学科は平成 28 年度入学生のみ入学定員 60 人、政治経済学部経済経営学科は平成 28 年度入学生のみ入学定員 120 人 (平成 28 年 6 月定員変更届出)								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
教育学部	153人 (100%)	10人 (6.5%)	140人 (92.2%)	3人 (2.0%)
保健医療学部 看護学科	109人 (100%)	0人 (0%)	107人 (98.2%)	2人 (1.8%)
保健医療学部 総合リハビリ テーション学 科	100人 (100%)	1人 (1.0%)	92人 (92.0%)	7人 (7.0%)
合計	362人 (100%)	11人 (3.0%)	339人 (93.6%)	12人 (3.3%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項) 大阪府立・大阪市立・堺市立など小学校・中学校、私立中・高等学校(教育学部) 公・私立病院、保健所、助産院、社会福祉施設など(保健医療学部)				
(備考) 政治経済学部は平成28年度設置のため、平成30年度までの卒業生はいない。				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
教育学部	164人 (100%)	152人 (92.7%)	3人 (1.8%)	9人 (5.5%)	0人 (0%)
保健医療学部 看護学科	119人 (100%)	109人 (91.6%)	5人 (4.2%)	5人 (4.2%)	0人 (0%)
保健医療学部 総合リハビリ テーション学 科	120人 (100%)	100人 (83.3%)	8人 (6.7%)	12人 (10%)	0人 (0%)
合計	403人 (100%)	361人 (89.6%)	16人 (4.0%)	26人 (6.5%)	0人 (0%)
(備考)					

⑤ 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)
<ul style="list-style-type: none"> 授業計画(シラバス)の作成過程 「シラバス作成のためのガイドライン」と「シラバス作成・編集上の留意事項」に従って、シラバスの作成・公表を行う。また、特に留意すべき事項は以下のとおりとする。 <ol style="list-style-type: none"> 以下の示したシラバスの役割等を全教員で共通理解を図る。 <ol style="list-style-type: none"> 授業選択のガイドとしての役割 担当教員と受講する学生との契約書としての役割 学修効果を高めるための役割

<p>(4) 授業全体をデザインするための役割</p> <p>(5) 学科・専攻・コースのカリキュラム全体に一貫性を持たせるための役割</p> <p>(6) 授業の改善につなげる役割</p> <p>2. シラバスの各項目の記載方法については、学生の視点に立ち、抽象的な表現は避け、具体的でより分かりやすい記述にする。</p> <p>3. 授業担当者は、当該の講義の目的・達成目標等を明確に定めるとともに、本学および当該学部の CP:カリキュラムポリシーおよび、DP:ディプロマポリシーに関連づけて設定されていることを確認する。</p> <p>4. 授業計画（シラバス）作成時期は、毎年、2月初旬から3月上旬とする。</p> <p>5. 授業計画（シラバス）公表については、現在は、毎年3月下旬に、学生ポータルサイトを活用して、WEB上で全学生が閲覧できるようにしている。また、本学の HP(ホームページ) において、授業計画（シラバス）を一般に公開している。</p>

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<p>(概要)</p> <p>単位認定の方針について</p> <p>本学の学士課程における単位認定にあたっては、各学部の学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）を踏まえた当該授業科目の位置づけとして相応しい到達目標を設定し、これに照らして学生の学修到達度を評価します。</p> <p>評価については、授業科目の担当教員が試験、レポートなどの成果物や、受講態度、授業への貢献度などに拠って行います。担当教員は、授業の内容および形態を考慮したうえで、学修到達度を適切に評価するために相応しい評価方法・基準を年度のはじめにシラバスで学生に明示し、その内容に基づいて厳格な成績評価を実施します。複数の担当者で担当する必修科目については、担当者間で協議し、評価が偏らないように配慮されています。なお、成績発表後に学生が自身の成績評価に関して担当教員に照会できる制度を備えることで、成績評価の透明性を確保します。</p>				
学部名	学科名	卒業に必要な単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
教育学部	教育学科	124 単位	有・無	43 単位
保健医療学部	看護学科	125 単位	有・無	45 単位
	総合リハビリテーション学科 理学療法学専攻	128 単位	有・無	43 単位
	総合リハビリテーション学科 作業療法学専攻	128 単位	有・無	43 単位
	総合リハビリテーション学科 言語聴覚学専攻	124 単位	有・無	43 単位
政治経済学部	政治行政学科	124 単位	有・無	43 単位
	経済経営学科	124 単位	有・無	43 単位
GPAの活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：大学案内（GUIDE BOOK）および下記 WEB ページ（大和大学受験生情報サイト）に記載

<http://www.kankakuyamato.com/campuslife/car>

大学案内請求先：大和大学 入試広報部

〒564-0082 大阪府吹田市片山町 2-5-1

TEL：06-6385-8010

e-mail：admaster@yamato-u.ac.jp

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考（任意記載事項）
教育学部	教育学科	900,000円 2年次以降 920,000円	180,000円	240,000円 2年次以降 300,000円	「その他」は「教育充実費」
保健医療学部	看護学科	1,150,000円 2年次以降 1,250,000円	180,000円	400,000円 2年次以降 500,000円	「その他」は「教育充実費」
	総合リハビリテーション学科	1,150,000円 2年次以降 1,250,000円	180,000円	400,000円 2年次以降 500,000円	「その他」は「教育充実費」
政治経済学部	政治行政学科	820,000円 2年次以降 920,000円	180,000円	150,000円 2年次以降 250,000円	「その他」は「教育充実費」
	経済経営学科	820,000円 2年次以降 920,000円	180,000円	150,000円 2年次以降 250,000円	「その他」は「教育充実費」

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組

（概要）

経済的理由により修学が困難な学生は日本学生支援機構の奨学金、その他地方公共団体や民間団体の奨学金を受けることができます。

また、『国の教育ローン』をはじめ、提携金融機関の教育ローンを利用することができます。

特に経済的理由により学生納付金の納入が特に困難な学生には、納付金の一部または全部を免除若しくは徴収を猶予する場合があります。

b. 進路選択に係る支援に関する取組

（概要）

各学部とも担任が進路選択に関する相談や指導を行います。

教育学部では教員採用を目指す学生を教職支援センターの教員が主として相談、指導に当たります。

保健医療学部では看護師、保健師、助産師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士それぞれの専門職としての就職を目指す学生を、担任を中心として各専攻の教員が国家試験合格のための学習と就職について指導します。

政治経済学部では、担任がキャリアセンターのスタッフと共同・連携して筆記試験、エントリーシート、面接等の就職指導を行い、希望する職業への100%の就職を目指します。また、キャリアセンターでは一般企業への就職を目指す教育学部、保健医療学部の学生に対してもサポートを行います。

c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組

(概要)

毎年4月に学生健康診断を行って健康状態を確認し、治療や医療機関での再検査・相談を必要とする学生に指導を行っています。また、心身の健康に関して、各学部・各クラスの担任が毎年行う面談で確認するとともに、保健室とも連携して心身の健康に不安のある学生の相談、指導に当たっています。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：<http://www.yamato-u.ac.jp/about/disclosure.html>